

「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒」 ＜9月の学校経営方針＞

【笑顔創造】…行為の判断基準を「笑顔」に！

1学期の振り返りをもとに、今月から「笑顔」をキーワードに取り組んでいきたい。自分の行為の判断基準を、自分自身や周囲の「笑顔」に置き、みんなで「みがき合い、支え合う」ことで「笑顔」を創り出していきたい。充実した2学期にするためのスタートとして「笑顔」を意図的に創造することに意を注ぎ、それぞれの取り組みに対する評価を確実に返すことで、変化（成長）を生み出していきたい。

あまり思わしくない結果になってしまったとしても、どこに原因があるのかを追求し、システムを替えていくことで、変化を生み出すことはできる。変わる意識や変えるための具体的な取り組みがなければ、同じ結果しか得られないものである。日々の忙しさに追われることなく、じっくりと先を見据えて「笑顔」を生み出すための具体的な取り組みを考えたい。

「白山ブランド」の構築のために

(1) 授業改革（主体的・対話的で深い学び）

○授業評価の改善

・授業ルールの確認。

・「教えて!」「これでいい?」→「いいよ。」「大丈夫?」の関係づくり。

(2) 心の教育（道徳、いじめ、生命、思いやり）

○「いじめゼロ」につながる人間関係づくりの充実。

(3) 安全安心（健康・体力向上、メンタル、防災、食育）

○意識の高い「体育祭」への取り組みによる熱中症対策、ケガの未然防止。

○校内適応教室の運用の共通理解。欠席3日/月の報告と長欠対策会議の開催。

(4) 生徒主体（行事、生徒会、部活）

○「体育祭」のゴールのイメージ共有と主体的な生徒の活動の推進。

○前期委員会の振り返りと後期への引継ぎ。

(5) 三大伝統（挨拶、歌声、清掃）…可視化された具体的な取り組み推進！

○「明るく元気な挨拶」

・「自分だけの挨拶」づくり。

・「明るく・いつも・先に・つながる挨拶」を意識した実践。

○「美しく響く歌声」→1学期の交歓会の取り組みの日常化。

○「心を磨く清掃」→「無言清掃」の意識化。（何のための「無言清掃」?）

「研究と課題」のために

(1) 「自ら、共に学ぶ生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～

○「対話的な学び」のための学習形態の工夫。

(2) 課題

○「わかる・できる授業」→生徒指導の機能を生かした授業づくり。

○「インクルーシブ教育」→UDの視点に立った授業づくり。

○「考え議論する道徳」→ねらいに迫るための主発問の吟味。

「連携推進」のために

(1) 小中連携→体育祭での連携、研修会での連携推進。

(2) 中高連携→計画的な進路指導の推進。